

プラスワン

# いなさの風

## No.35

令和7年 9月1日

〒852-8011 TEL095-861-2650

長崎市稲佐町11番1号

長崎市立稲佐小学校長

岡田 政宏



### 学校教育目標 たくましく未来を切り拓く子どもの育成 「なりたい自分になる」いなさっ子の学びの多様化に応える

## クスノキの歌詞に思いを込めて 平和への願い、発信 5年生

8月9日登校日。長崎は平和の日を迎えました。本校でも、「平和」を希求し、戦争で犠牲となった方々のご冥福をお祈りする取組を行いました。まず、第一部は、平和への願いを込めて子どもたちが新たに作った折り鶴を平和の碑に供えるセレモニーです。あいにく悪天候でしたので、校舎内での活動となりました。続いて第一部は、気温が高かったため体育館ではなく、5年生教室の間仕切りを撤去した大スペースでの集会です。私の挨拶では、クスノキについて触れました。爆風や熱風に耐えた本校運動場にあるクスノキが、工事で根が切られ弱ってしまいい4年ほど前に枯れてしまったこと。クスノキの樹齢は200年を超えるものがあり、長きに渡り人々の営みを見つめてきたこと。同日にスタジアムシティで生中継ライブを行った福山雅治さんの楽曲「クスノキ」の歌詞は、戦争の悲惨さ、命のたくましさ、生きるものすべてへの平和への願いが込められていること、福山さんは、本校のクスノキを含む市内50本の被爆

樹木を守るための募金活動「長崎クスノキプロジェクト」をプロデュースしていること等を伝えました。続いてメインプログラム、5年生の平和学習「平和は稲佐からの発表と各学年による「稲佐小平和の誓い」の音読、そして「クスノキ」の合唱を行いました。（動画参照）最後に、平和公園からの式典の中継映像を視聴。ノーベル平和賞を受賞された被爆者の西岡洋さんの「平和への誓い」では、「体中に爆風によって砕け散った窓ガラスが突き刺さった級友たちの下敷きになったおかげで命が助かったこと」、「軽傷や無傷だった幸運な人たちも、次第に歯茎から出血し、髪の毛が抜け落ちて死んでいったこと」などの話があり、子どもたちに響いたようでした。最後に、城山小・山里小の合同合唱「クスノキ」の歌声でこの日の平和の学びを終わりました。世界中が平和で、皆が平等に生きられる地球でありますように。

平和集会（5年生発表）& 「クスノキ」合唱



ラジオ体操・ポッチャ・盆踊り



8/9 城山山聖合唱



8/9 サライズ



トモブラPR (3年生)



## 9月の主な行事

- 2日 短縮日課
  - 3日 夏休み作品展（9日まで）
  - 8日 6年修学旅行・中学校入学制度説明会
  - 13日（土）8:00～育成会除草作業
  - 18日 3年スタジアムシティツアー（全額免除）
  - 29日 5年宿泊体験学習（10/1日まで）
  - 30日 6年淵中体験（授業・部活）
- 教材費後期引き落とし

## 大谷翔平選手から考える2学期！

9月1日始業式。子どもたちにもメジャーリーガーの大谷翔平選手を例に「挨拶」と「学習」の話をしました。礼儀正しさと定評のある大谷選手。敵将の監督、審判や相手選手にもしっかりと挨拶します。彼は、相手に対しての「尊敬」と「感謝」の念を挨拶で示しているとのこと。挨拶すると、相手は笑顔になり自分自身も笑顔になる。よいエネルギーに満ち溢れ、互いに仲良くなり、人生によりよい運をもたらしと考えているそうです。一人では生きていけない世の中、挨拶はコミュニケーションの基本です。「学習」に関しては、本校で

育てたい3つの力（メタ認知「計画実行」乗り越える）に関連した大谷選手の話。自身の能力や体調を客観視できる彼は肩と肘の手術を早くから想定していたこと（メタ認知、本通信31号でもお知らせした彼の高校時代の「目標達成表」のこと（計画実行）、彼の名言「イヤイラしたら負け」「支えてくれている人がたくさんいることへの感謝」から子どもに委ねる授業で実践してほしいこと（乗り越える）、等を伝えました。当日のスライドは授業中ではないので、著作権・肖像権の関係で公開できないのが残念です。

## 国語総合アプリ「トモブラ」不採用

昨年度からお試し採用を続けてきた、同アプリですが、便利機能満載なのですが、同社の紙教材との比較検証の結果、現時点での採用は見送ることとしました。今後、機能が改善され、最適な教材と判断した場合には、採用を検討する可能性があります。同社のPR動画には、本校の3年生の活躍の様子があります。

## ケセラセラ

一学期に2年生の女の子からラブレターをもらいましたのでご紹介いたします。「校長先生へ 校長先生にお手紙を書きました。いつも、朝からあいさつをしてくれてありがとうございます。あいさつのおかげで、元気付けられています。校長先生のがんばりに、あこがれています。みんなのためにがんばっている校長先生が大好きです。うより」上記で大谷選手の挨拶のことを紹介しましたが、Uさんもお手紙の中で「元気付けられる」「あこがれる」という言葉を書いてくれました。たった1秒のコミュニケーションでこんなに感じてもらえる挨拶ってやっぱりすごいですね。本校では、2学期から「あいさつレベル」の取組をします。朝から玄関の外で子どもたちを迎え入れますが、「自分から挨拶できない子」がまだたくさんいます。こちらから挨拶をすると、ほとんどの子どもたちは、明るく笑顔で返してくれます。しかし、「眼を合わせずに挨拶する子」「声を発することなく、うなずくことしかできない子」が5人いるのです。まずはこの5人が「相手の眼を見て挨拶を返せる。」が第一目標。次に全員が「あいさつレベル2（自分から挨拶する）」を100%できるようになることが第二目標です。

